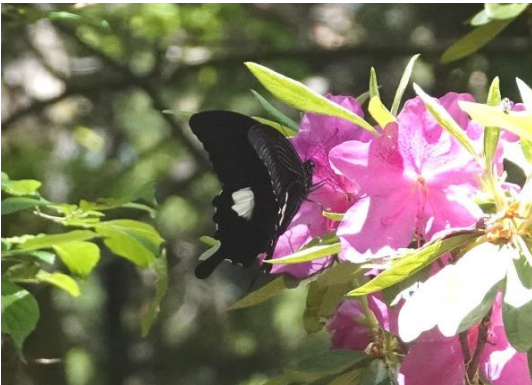


和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
モンキアゲハ	アゲハチョウ科	後羽の大きな黄白色の紋	X	X	○	全国

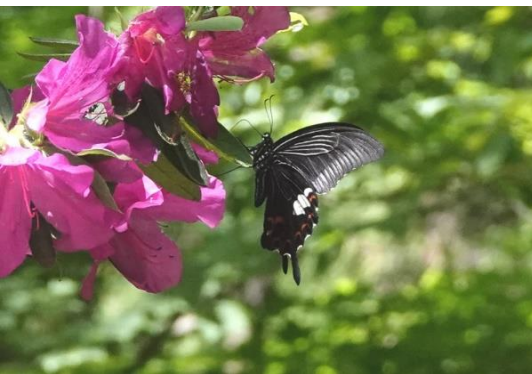
成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草 ○ 食樹						発生回数/年		越冬形態			
カラスザンショウ、ミカン類						3		蛹 (サナギ)			



川崎市 緑地山頂 5月3日 (2020年) テリトリーを張る



八王子市 5月17日 (2020年) オオムラサキツツジで吸蜜



八王子市 5月17日 (2020年) オオムラサキツツジで吸蜜



八王子市 7月19日 (2020年) ヤマユリで吸蜜



シロオビアゲハ 宮古島 (伊良部島) 3月27日 (2019年)



ベニモンアゲハ 宮古島 (新城) 3月27日 (2019年)

大型のアゲハチョウで後羽に大きな黄白色の丸い紋があるので飛んでいてもすぐにわかります。生田緑地でモンキアゲハを見るようになってずいぶん時間は経ちますが、個体数はそれほど多くはなく、急速に増えてハイム内でも見られるようになったナガサキアゲハと比べて何が原因で差が出ているのかはよくわかりません。個人的には他のアゲハチョウ以上に、山頂に集まる傾向が強いという印象を持っています。沖縄にはこのモンキアゲハとよく似たアゲハが二種います。シロオビアゲハ (黄白色紋が丸い塊でなく帯状に伸びる)、ベニモンアゲハ (羽に赤い紋が追加され胴体も赤い。因みに食草はジャコウアゲハと同じウマノスズクサでモンキアゲハとジャコウアゲハを足したようなアゲハチョウ) です。



八王子市 7月19日（2020年） ヤマユリで吸蜜



八王子市 7月19日（2020年） 赤い花粉にまみれながらヤマユリに飛来